

医療データベースの包括的利用による周産期の疫学研究

1. 研究の目的

本研究では、厚生労働省、一般社団法人診断群分類研究支援機構、日本産科婦人科学会、日本小児科学会、日本新生児成育医学会等がそれぞれ所有する大規模医療データベースを、統計学的手法を用いて確率的に連結し、各データベースに特有の情報を含む新たなデータセットを生成することで多くの医学的、あるいは医療政策的な知見を算出します。そして、公的統計の妥当性の検証やデータベース同士の包括的利用の手法を確立することで、今後の研究基盤構築に貢献することを目的とします。

2. 研究の方法

- ①研究対象：1960年～2018年（58年間）の間に日本国内で妊娠12週以降の児を分娩した妊婦、分娩当時の配偶者、およびその分娩により出産された児。
- ②研究期間：倫理委員会承認日から平成31年3月31日迄
- ③研究方法：他の医学系団体が所有しているデータベースを統計学的手法を用いて確率的に連結し、個人情報を削除し匿名化したのちに解析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

氏名、生年月日、性別、在胎週数、胎児数、出生体重、死亡時病名等。

※なお、氏名情報については、出生票に対する死亡票の特定、母親が同一である出生票同士の連結など家族構成の特定のためにのみ用いられ、その後消去されます。

4. 外部への試料・情報の提供・公表

共同研究機関である国立成育医療研究センター、東京大学、京都大学、聖路加国際大学へは、氏名等の情報が除かれた状態でデータの提供を行います。

また、研究の成果を学会・学術誌・データベース等で発表の場合は、集計結果のみが発表され、個人を特定することが出来ない状態で発表します。

5. 研究実施機関

- ・国立成育医療研究センター社会医学研究部 ・京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学教室
- ・東京大学大学院医学系研究科公共健康医学教室 ・聖路加国際大学大学院看護学研究科国際看護学教室

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。

責任者 産婦人科 診療部長 佐世 正勝

〒747-8511 山口県防府市大字大崎 10077 番地

Tel 0835-22-4411